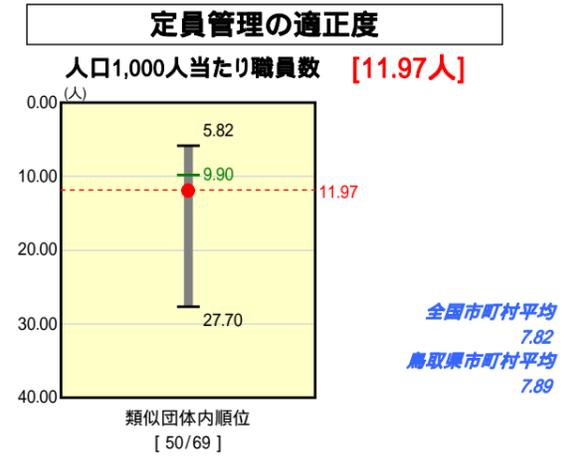
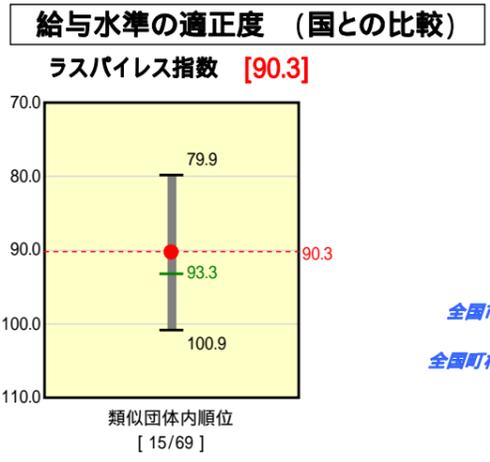
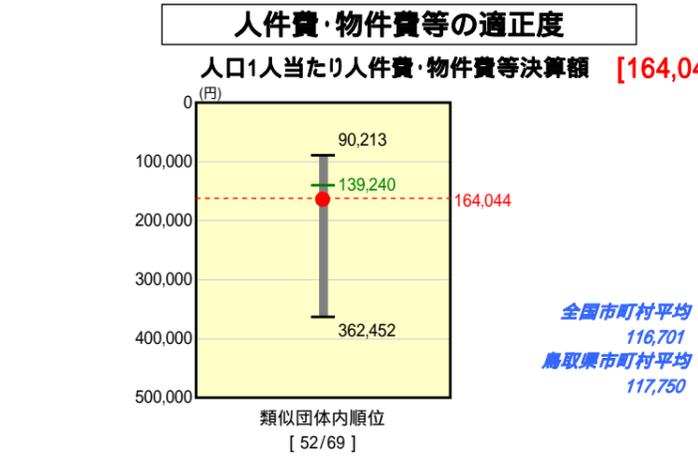
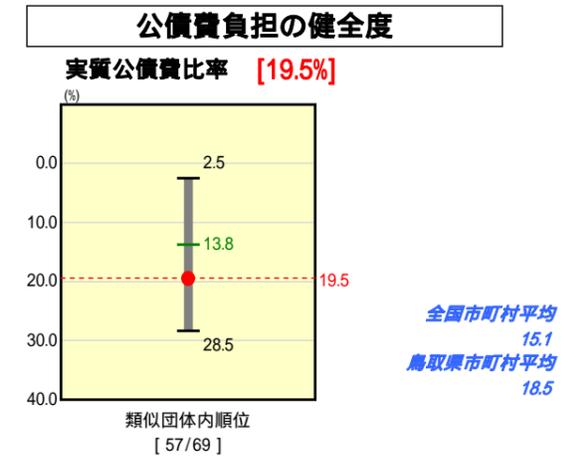
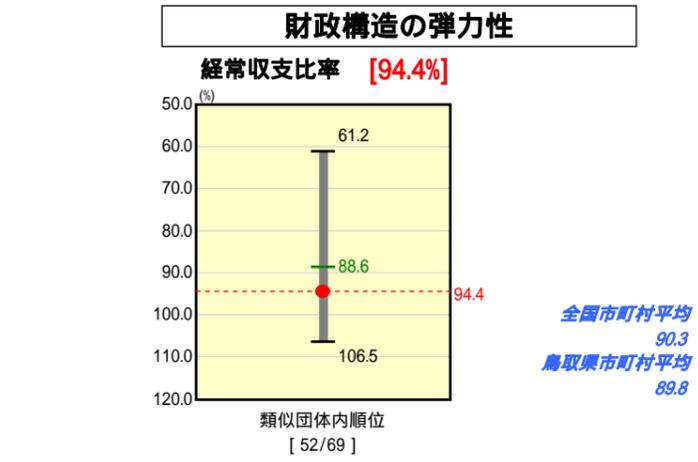
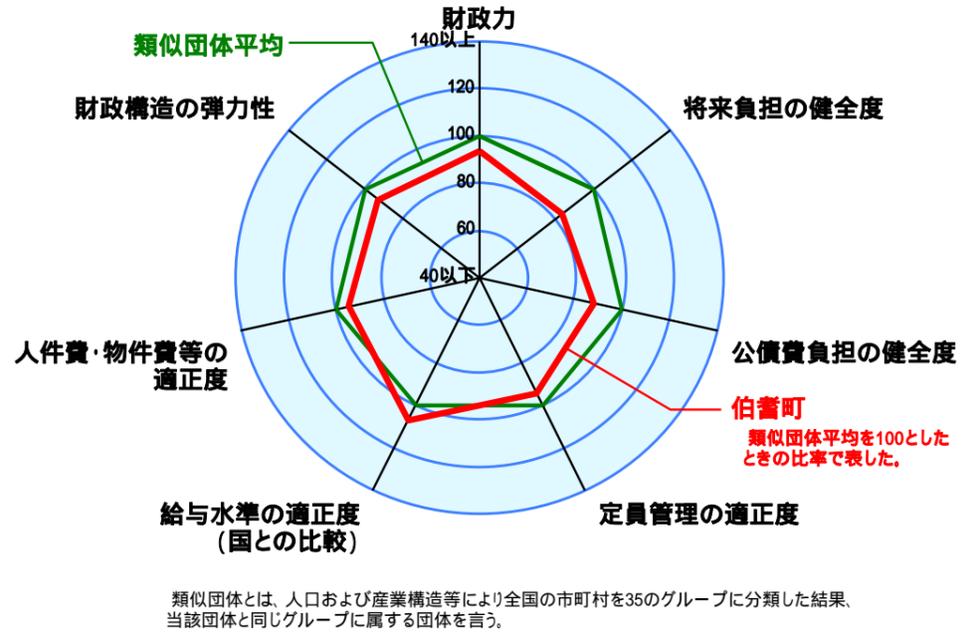
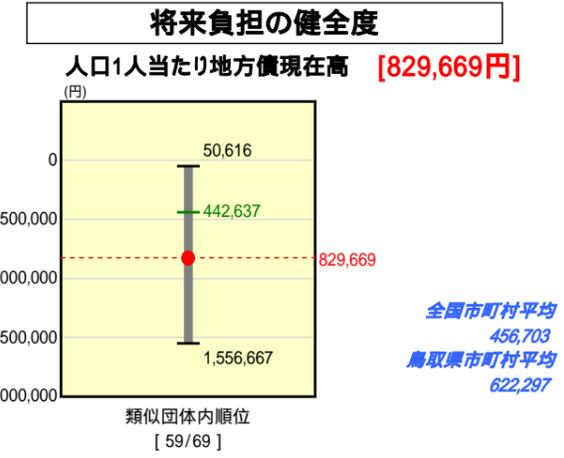
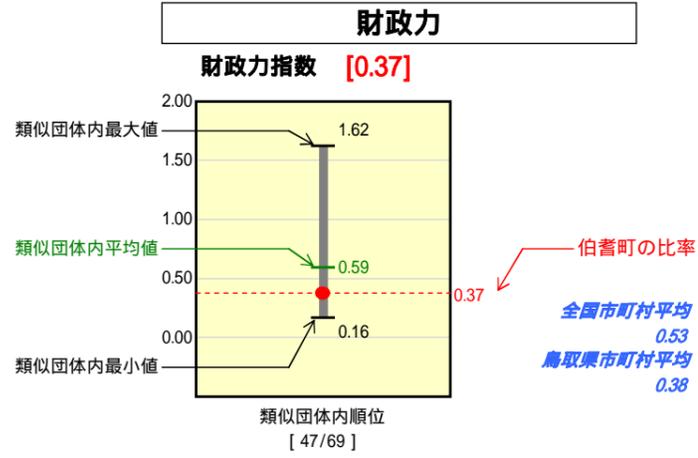


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 鳥取県 伯耆町

人口	12,282 人(H19.3.31現在)
面積	139.45 km <sup>2</sup>
歳入総額	6,858,236 千円
歳出総額	6,615,516 千円
実質収支	211,876 千円



**分析欄**

**【財政力指数】**  
 財政力は、上昇傾向ではあるが、全国平均等を大きく下回っており、人口の減少、高齢化、景気低迷による地方税の減収、及び地方債の元利償還金がピークであることにより依然厳しい状況である。

**【経常収支比率】**  
 伯耆町行政改革大綱2005実施計画「集中改革プラン2005」において、経費削減(5%)を図る計画として歳出削減に努め、前年度から経常収支比率で2.2%の削減が図れた。しかしながら、以前として経常的な支出として地方債の元利償還金が増加していること、収入では、普通交付税が大幅に減額となっていることが、比率を悪くしている要因である。

平成18年度から5ヶ年の伯耆町財政計画では、職員数、投資的経費、借入金の抑制と物件費、補助費の経常経費を削減し、早期に経常収支比率を90%以下とすることを目標としている。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
 類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。今後、伯耆町定員管理計画により職員数の抑制を行う。

**【ラスパイレズ指数】**  
 給与体系の見直しにより、類似団体平均と同水準となっている。今後も引き続き給与の適正化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
 鳥取西部地震対応、保健福祉センター建設、CATV施設整備等に係る地方債の影響により、類似団体平均を大きく上回っている。

平成18年度から5ヶ年の伯耆町財政計画では、今後、投資的経費を抑制することで、新規借入金と地方債現在高を減少させ、財政の健全化を図る計画としている。

**【実質公債費比率】**  
 過去の投資的経費に係る起債の償還等に伴い平成17年度から平成19年度までが償還のピークであるため、また、比率が過去3ヶ年平均の数値であることから、今後も上昇する傾向にある。

平成18年度から5ヶ年の伯耆町財政計画及び公債費負担適正化計画により、投資的経費を抑制し、平成24年度までに18%以下とする計画としている。

今後、地方債の繰上償還を実施し、公債費の適正化を図る。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
 合併により職員が類似団体と比較して増えているが、伯耆町定員管理計画策定により、職員数を145名以内とする計画とし抑制を図る(平成17年4月1日現在:171名、平成18年4月1日現在:164名)。